



## 東海ブロッククラブネットワークアクション 2019 開催報告

日 時： [1 日目] 令和元年 11 月 30 日（土） 13：00 ～ 17：00

[2 日目] 令和元年 12 月 1 日（日） 9：00 ～ 12：00

会 場：愛知県教育会館

内 容：テーマ：クラブの未来を考える～クラブマネジメント力の強化～

[1 日目]

1. 共通プログラム「総合型クラブ登録・認証制度の創設に向けた情報共有」
2. ワークショップ「登録・認証制度について理解を深めるワークショップ」

[2 日目]

1. クラブ経営に関する分科会
  - 1) ヒト：次世代につなぐクラブ運営
  - 2) プロダクト：財源確保につながる事業
  - 3) カネ：経理事務と戦略的予算

参加者：74名

### 【概要】

今年度の東海ブロックは11月30日（土）、12月1日（日）の二日間にわたって開催された。1日目は、総合型地域スポーツクラブ全国協議会（SC 全国ネットワーク）が設定した、共通プログラム「総合型クラブ登録・認証制度の創設に向けた情報共有」に続き、ワークショップとして制度についてのグループワークを実施。参加者同士の意見交換を重視した内容となった。二日目の分科会では、クラブ経営に関する分科会として、人材確保、財源確保、戦略的予算の3つに分かれ、各分野における課題の洗い出しと、解決策について検討した。

### 【内容】

[1 日目]

#### 共通プログラム「総合型クラブ登録・認証制度の創設に向けた情報共有」

制度の必要性と背景について…東海ブロック常任幹事（築瀬）

制度原案概要説明…日本スポーツ協会事務局

登録・認証制度創設によって、クラブの立場を確立し、総合型クラブの認知度向上に寄与することが期待できる。都道府県行政、市町村行政に対して総合型クラブへの理解を促進する等の説明があった。



#### ワークショップ「登録・認証制度について理解を深めるワークショップ」

共通プログラムから引き続き、登録・認証制度について理解を深めるためのワークショップを実施した。各グループ6人程度で登録・認証制度に関する疑問、質問を洗い出し、グループ内での議論を行い、グループごとに発表を行った。各グループからは、制度に関する要望や疑問点などが出

された。また、この制度を運用する際に関する不安点なども挙げられ、この制度が広く周知され、行政側から総合型クラブ運営に対する理解がより深められるような制度となることなどの要望も出された。



[2日目]

### 分科会①ヒト：次世代につなぐクラブ運営

【コーディネーター：築瀬 歩氏（しもやまスポーツクラブ）】

クラブの事業に参加している人の0.5%がクラブ運営に関わってくれる可能性があるとする、クラブ会員の増加が次世代の運営者につながる。現時点より多くの会員を確保することがクラブ運営者の確保につながる可能性が高い。また、「どのような人にクラブに関わってほしいか」という点については、「どのような人にでも適材適所に対応するので、どんな人にでも関わってほしい」すなわち誰でもOKという意見が出、多くの賛同を得た。



### 分科会②プロダクト：財源確保につながる事業

【コーディネーター：岸田 美也子氏（公益社団法人ぎふ瑞穂スポーツガーデン）】

【事例発表者：渡辺 靖代氏（一般社団法人スポーツリンク白川）】

事例発表①（一社）スポーツリンク白川「会社でちょいトレ出前講座」

事業の収益化のチャンスは「人」が活動することで生まれるので、ニーズに応じて新しい事業を始め安定的な顧客確保につなげることが重要。

- ・脳トレ×運動で健康経営
- ・会社内での運動でコミュニケーションを図る
- ・ほとんどの会社で高評価
- ・地元企業と関係持てる←企業とつながりができる

事例発表②NPO法人ウィル大ロススポーツクラブ「新たな法人設立で新規事業」

一般社団法人を立ち上げ、新規事業（飲食業、販売業、造園業など）を行うことで、稼働率が低下している町の施設の有効活用とクラブの収益事業の強化を図る。

- ・各事業に必要な人材を採用（資格保有者を雇用）
- ・NPO法人ではできない事業を展開
- ・町の施設の有効活用（稼働率UP）



### 分科会③カネ：経理事務と戦略的予算

【講師：遠藤 誠氏（亜細亜大学）】

- ・時代背景 人口が減少→税収が減少する→行政を頼ることは難しくなっていく。
- ・サービスの提供に対する対価といった考え方で会費収入は難しい。一方で、人々は己の快樂（スポーツが楽しいという気持ち）や、感動への対価は惜しまない。単なるスポーツサービスの提供ではなく、すべての地域団体との友好連携していくことが重要である。
- ・そのためには事業計画のシナリオ化は重要であり、クラブのありたい姿を戦略的に表現し、アピールしていくことが必要。



## 【まとめ】

今回の東海ブロッククラブネットワークアクションは、1日目は登録・認証制度について、2日目は分科会でそれぞれのテーマについて議論した。

特に登録・認証制度についてのワークショップは、参加者同士が積極的に意見交換をする姿が多く、登録・認証制度に対する関心の高さを感じる一方で、制度に対する要望、疑問、質問等も多く出された。今回初めてこの制度を知ったという参加者も多く、今後クラブに持ち帰っての周知が期待される。

2日目の分科会では、テーマごとに分かれての企画となった。どの分科会においても参加者からの発言が多くあり、熱心な議論が交わされていた。

今回様々な場面で行われていたクラブ関係者同士の交流がそれぞれクラブに戻った後も、つながっていくことを期待したい。

また、実行委員会としては、来年度以降、さらなる参加者の拡大に向け、魅力的で参加しやすい会となるよう取り組んでいきたい。



(東海ブロッククラブネットワークアクション実行委員長 築瀬 歩)

※本ネットワークアクションは、東京2020応援プログラム(スポーツ・健康)として実施しました。

